彦根城の桜

現在、城内には約1、200本の桜が植えられていて、彦根城は全国的にも桜の名所として知られています。

しかし、江戸時代の彦根城に桜はありませんでした。徳川幕府の守りの要として築かれた彦根城には、築城以来、桜は植えられていませんでした。

では、なぜ今はこんなに桜が植えられているのでしょうか。

市制施行前の、昭和8年頃、彦根町会議員だった吉田繁治郎さんが、城下町彦根の魅力を生かし、将来、観光都市として発展させていくために、城郭一帯に桜を植えて「桜の彦根城」にしようと考えたのが始まりです。翌9年にはソメイヨシノの苗木を1、000本買い入れて、自ら植樹をし、育成に努めました。そうして、彦根城は徐々に桜の名所となっていきました。

特別史跡と桜

彦根城一帯は、文化財保護法で「特別史跡」に指定されています。「史跡」とは、文化財の体系の一つで古墳や城跡、碑など多岐にわたる遺跡のことです。

そのうち、学術上の価値が高く、日本の文化の象徴となるものがさらに「特別」を冠して「特別史跡」に指定されています。

彦根城跡は、昭和26年に「史跡」に、昭和31年に「特別史跡」となっています。奈良県にある「平城宮跡」や「高松塚古墳」も「特別史跡」に指定されています。県内では「安土城跡」と「彦根城跡」の2か所だけが「特別史跡」に指定されています。

この指定により彦根城内は遺跡の保護が第一に考えられ、城内で行うさまざまな行為は、文化財保護法第125条第1項の規定に基づき、事前に文化庁長官の許可を受けなければならないことになっています。

当然のことながら、城内の新たな掘削など遺跡を破壊するような行為には法律上の制限があります。植樹についても、植えつける際に地面を掘ることから、同様に規制があり、現在では、昭和の始めに吉田さんが行ったような大規模な植樹はできなくなっています。

しかしながら、江戸時代にはなかった桜も、現在の彦根城の景観として定着しているため、枯れたり折れたりした場合は、遺跡に影響がないことを確認して補植することが許されています。

彦根城に限らず、全国の城郭は少なからず桜の名所になっており、どこの城郭もソメイヨシノの樹勢の維持・回復と史跡の保護の両立には頭を痛めているようです。

ソメイヨシノの特徴

現在、城内の桜は、ほとんどがソメイヨシノという品種です。

ソメイヨシノは、明治期になって世に出てきた比較的新しい桜で、艶やかな花を咲かせます。

しかし、ソメイヨシノは、病気にかかりやすく、寿命が60年から70年と比較的短命です。

城内の桜も例外ではなく、吉田さんが植えてから約80年が経過しており、ソメイヨシノは老衰期に入っています。

城内の桜は堀の石垣付近に植えられているものが多いため、根の生育範囲が狭く、養分・水分の取り入れには過酷な条件になっています。

桜の剪定

通常、梅はよく枝を伸ばすため、定期的に枝を切りますが、桜は切り口から菌が侵入して幹を腐らせてしまうため、剪定には不向きだと言われてきました。

ところが、最近は桜も他の樹木と同様に剪定し、きちんと衛生管理をすることによって、病害虫の発生を少なくし、美しい花を咲かせることができることが分かってきました。

現に、桜で有名な弘前城（青森県）や角館（秋田県）では、知識と技能を持った専門の職員が枝の剪定を行い、古くなった枝を新しい枝に更新することによって、長寿命化を図っています。

ちなみに、弘前城には樹齢130年の日本最古のソメイヨシノが今も息づいています。

桜の保護と育成

「桜は手を尽くすと応えてくれる」と言われています。

老衰期を迎えた彦根城の桜が毎年美しい花を咲かせてくれるように、肥料を与えたり、剪定などをして手を加えてあげたりしなければなりません。

また、高度な知識と技術も必要となるため、樹木医のアドバイスを受けるなどしながら、市民の皆さんとともに地道な努力を続けていきたいと考えています。

問い合わせ先　市教育委員会文化財課☎26-5833番、FAX26-5899番

施肥作業ボランティア募集

下の日程で彦根城の桜に肥料を与える作業をします。
一緒に作業をしていただけるボランティアを募集します。

日時　3月4日(日)　9：30～（2時間程度）
※小雨決行。荒天時は延期。
集合場所　大手前保存用地（金亀町5-23）に集合してください。
施肥場所　彦根城表門～彦根西中付近（内堀沿い）
※事前申込は不要です。

◀玄宮園付近の桜に、肥料を与えるボランティアの皆さん

彦根城の桜にもっと元気を

樹木医　川崎昭重さん

彦根に50年近く住み、彦根城の桜を見てきました。彦根城の桜は、全国的にも人気の高い素晴らしい桜の名所です。

私が樹木医として、彦根城の桜と直接関わりだしたきっかけは、平成16年に彦根市から衰弱する桜の対策について依頼をされてからになります。

その頃の彦根城の桜は、決して良い状態ではありませんでした。市民の皆さんの大きな協力もあり、桜に肥料をあげ、コケを取るなどの手入れをすることにより、現在では桜の木に元気が戻ってきています。

全国的にも有名な弘前城の桜はとても良い管理をしている結果、今でも綺麗に咲いているのです。彦根城の桜もまた、市民の皆さんの協力のもと、弘前城の桜のようにまだまだ咲き誇っていくことと期待しています。

桜は花が咲き誇る春だけが見頃ではありません。夏の緑陰や秋の紅葉、冬の枯木の景観もとても美しく、1年を通じて私たちを楽しませてくれます。

花が咲く時期だけではなく、年間を通じて桜に気をかけてもらえれば、なお一層桜が元気になっていくと思います。